

さくらの開花予想（第7回） （北海道地方）

〔概要〕

本年のさくらの開花は、北海道地方では平年並みの地点が多い見込みです。

〔本文〕

さくらの開花は、一般的に気温が高いと早まり、気温が低いと遅くなります。今回の予想対象地域の2月からこれまでの気温は、3月中旬及び4月上旬が平年並みであったほかは平年より高く推移しました。4月中旬は、平年より低く推移していますが、4月下旬以降は、ほぼ平年並みとなる可能性が大きいと予報されています。このため、本年のさくらの開花は、北海道地方では平年並みの地点が多い見込みです。

なお、北海道地方のさくらの開花予想は、ソメイヨシノの生育地が限られているため、エゾヤマザクラ、チシマザクラを対象としている地点があります。

〔参考〕

1. さくらは、夏頃に翌春咲く花のもととなる花芽（かが）を形成し、休眠に入ります。花芽は冬の低温に一定期間さらされると休眠から覚めます（休眠打破）。花芽は休眠打破のあと気温の上昇とともに生長し開花します。
さくらの予想開花日は、過去の開花日と気温のデータから予想式を作成し、これに、昨年秋からの気温経過と気温予報をあてはめて求めています。なお、気温予報には週間予報、1か月予報及び3か月予報を用いています。
2. 開花とは花が5～6輪開いた状態のことです。さくらの開花は、一般的に標高が100m高くなるごとに約2～3日遅くなります。
また、今回発表した地域のさくらの開花から満開までの期間は約3～4日です。なお、満開とは、花芽の約80%以上が開花した状態のことです。
3. さくらの開花を平年値（1971年～2000年の30年間の累年平均値）と比べる場合、「平年並」とは平年値との差が2日以内、「早い（遅い）」とは平年値より3日以上早い（遅い）ことをいいます。なお、「かなり早い（遅い）」とは平年値より7日以上早い（遅い）ことをいいます。
4. 開花予想は、各气象台や測候所の定めた標本木を対象としたもので、名所の開花とは異なることがあります。また、予想開花日には平均して前後2～3日程度の誤差があります。

資料1：2007年の各地のさくらの開花予想（予想開花日一覧・等期日線図）（4月18日発表）

今後のさくらの開花予想の発表は下表のとおりです。発表時刻は14時を予定しています。

	北海道
第8回（4月25日）	○

問い合わせ先：観測部計画課情報管理室 応用気象情報係
電話：03-3212-8341（内線4228）

資料1 2007年の各地のさくらの開花予想(4月18日発表)

地点	予想 開花日	平年 開花日	平年 差	前年 開花日	前年 差	種類
【北海道地方】						
札幌	5 6	5 5	+1	5 8	-2	ソメイヨシノ
稚内	5 16	5 16	0	5 18	-2	エゾヤマザクラ
留萌	5 12	5 11	+1	5 14	-2	エゾヤマザクラ
旭川	5 7	5 7	0	5 10	-3	エゾヤマザクラ
網走	5 16	5 13	+3	5 15	+1	エゾヤマザクラ
帯広	5 8	5 7	+1	5 8	0	エゾヤマザクラ
釧路	5 18	5 18	0	5 18	0	エゾヤマザクラ
根室	5 20	5 20	0	5 17	+3	チシマザクラ
室蘭	5 5	5 8	-3	5 12	-7	ソメイヨシノ
浦河	5 10	5 11	-1	5 11	-1	エゾヤマザクラ
江差	5 1	5 3	-2	5 7	-6	ソメイヨシノ
函館	4 29	5 3	-4	5 7	-8	ソメイヨシノ
紋別	5 16	5 12	+4	5 16	0	エゾヤマザクラ

(注)表中の平年差の値が
 +7以上は かなり遅い
 +3~+6は 遅い
 -2~+2は 平年並
 -3~-6は 早い
 -7以下は かなり早い

2007年のさくらの開花予想の等期日線図(4月18日発表)

(北海道地方)

